

週刊

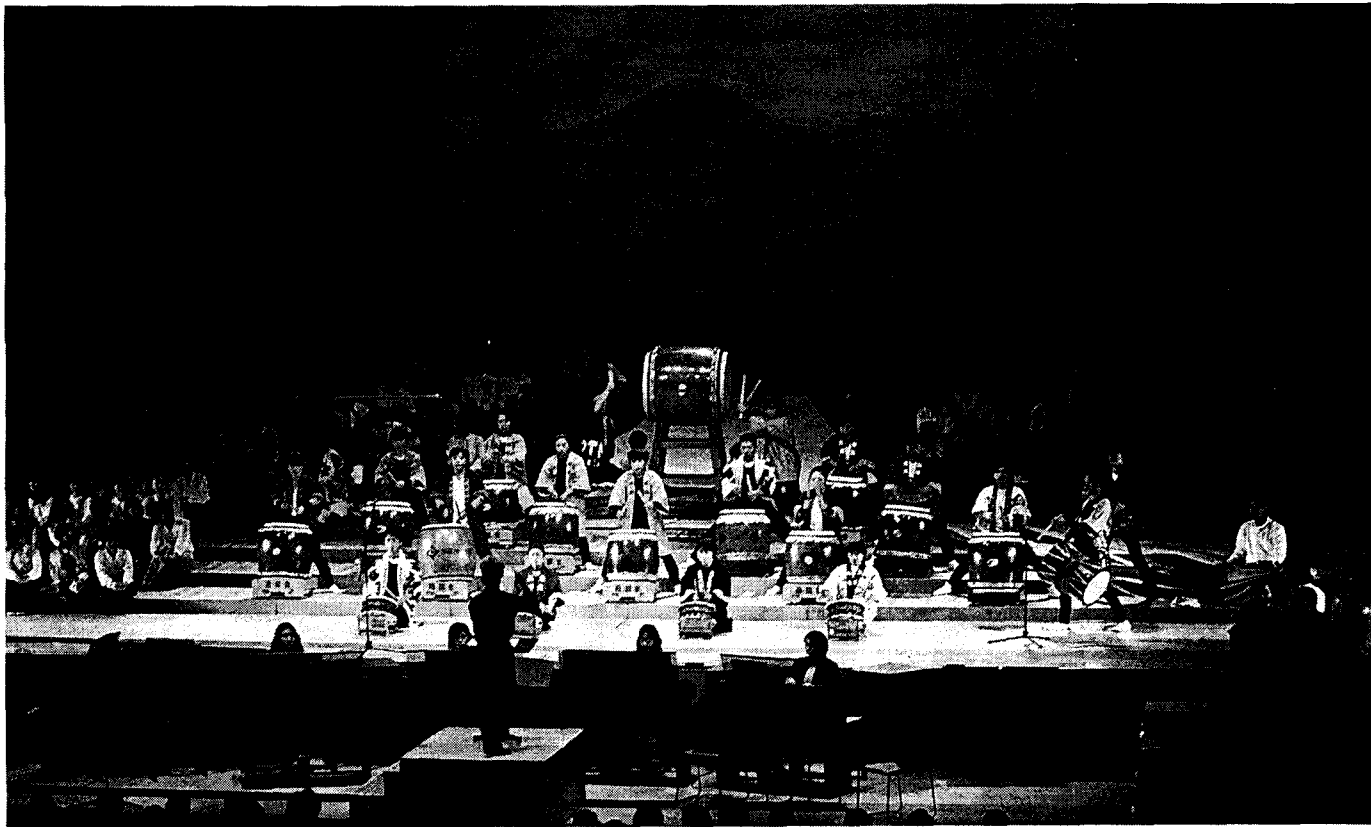
うたごえ新聞

12/11
(2000年)
NO. 1779

THE SINGING VOICE
OF JAPAN (UTAGOE)
日本のうたごえ全国協議会機関紙
うたごえ新聞社
〒169-0072 東京都新宿区大久保2-16-36
☎03(3209)0638 FAX03(3200)0105
E-Mail = utashin@pop06.odn.ne.jp
振替口座 00120-6-5631 毎週月曜日発行

富士の裾野に人間讃歌響かせて

2000年 日本のうたごえ祭典 inしずおか 閉幕!



11月24日から26日までの3日間、静岡で開かれた「2000年日本のうたごえ祭典inしずおか」はのべ8800人が集い、開催地静岡の人々とともにつくりあげた、20世紀に
26日は富士山を背にした東静岡駅前にあるグラウンド
紀を締めくくると
ふさわしい祭典と
なった。

一人ひとりが

主人公、8800人の共演



▲「ぞうれっしゃがやってきた」ハイライトの舞台より

トップホール「海」で開かれた大音楽会「輝け、わが心の富士よ、新しい世紀へ」を開催。県内各地で展開されてきたうたごえ祭典に、全国の参加者が加わりつくり出された大舞台の数々は、まさに日本のうたごえ祭典ならではの感動を伝えた。初めて、そして今世紀最後の日本のうたごえ祭典を、一人ひとりの生きる思い、喜びを、歌でつなぎあううたごえ運動の魅力、静岡らしさを伝えたい、と企画・準備されてきた。それが花開いた大音楽会となった。しずおか祭典特集、今号は3面で合唱発表会関連、4・5面写真特集、8面で大音楽会を紹介。



▲フィナーレ、ゲストのみなさんも一緒に「故郷」の全員合唱。最上段の写真は開幕祭典序曲「富嶽百景」

祭典期間中に、本紙50人の新読者を迎える



「20世紀最後の…」この言葉がふられている。この調子では大晦日どうなるのか。

21世紀の扉のノブに手をかけたしずおか祭典が終わった。「天・地・海・人」と題して地球上のすべてが調和、共存し幸せで豊かな人類史を創ろうと歌い上げた。

☆ ☆ ☆
よく「20世紀は戦争の世紀だった」といわれる。核兵器までも作りあげ、人間の命を奪い、半世紀たった今も、その傷跡を残している。いや、人間の命だけでなく地球上の生態系をことごとく破壊している。人間の手による傲慢な自然破壊は生物を絶滅寸前までに追いこんでいる。もしかしたらこの地球上に人間を創り出した神様はひそかに顔をしかめ、反省しているかもしれない。

☆ ☆ ☆
調和と共存、その土台となるのが「平和」であり、私たちは運動が始まって以来声を大にして歌ってきた。その上にならば「天・地・海・人」と声を上げた。祭典で演奏されたすべてが、明るく楽しく、そして自信にあふれていた。この延長に21世紀があることに私は自信を持った。

☆ ☆ ☆
「21世紀を迎えるための…」この言葉の方が未来がある。神様も反省を少し伸ばしてくれるかもしれない。明日は今日より若く、21世紀は20世紀より元気に

(七)